

令和4年2月3日(木) 実施

2022年度大学院法学研究科 特別選考による外国人修士課程入学試験問題

社会科学の基礎学力を試す論文試験(日本語で解答すること。)

受験番号	
------	--

(1) 問題冊子、下書用紙、すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。(氏名は絶対に記入しないこと。)

問題 1 次の文章（内田樹『下流志向』二〇〇七年、講談社、pp. 59-65より抜粋）を読んで、次の問に答えなさい。

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

問1 本文中の次の言葉の読みを書き、その意味を説明しなさい。

- ① 精緻
- ② 表象
- ③ 等価交換原理
- ④ 不可逆的
- ⑤ 度量衡

問2 傍線部について、なぜ、等価交換の原則を学校教育に当てはめることを許したら、教育は立ちゆかないのか。筆者の考えに即して説明しなさい。
(200字以内)

問3 筆者の考えによると、「学び」とは、どのような営みであるか。(200字以内)

問題 2 次の文章(伊藤真『随想録 千曲川の岸边』二〇一四年、有斐閣 pp. 129, 134より抜粋)を読んで、次の問に答えなさい。

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

問1 本文中の次の言葉の読みを書き、その意味を説明しなさい。

- ①法曹
- ②講ずる
- ③擁護
- ④些細
- ⑤担い手

問2 傍線部において著者はなぜ「やや奇妙なことになる」と論じたのか。その理由を100字以内で説明しなさい。

問3 弁護士人口の増加によって引き起こされる問題として「訴訟社会出現のおそれ」を指摘する議論もあるが、この議論に対する著者（伊藤真）の見解を250字以内で整理しなさい。